

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 11 月 17 日 (2005.11.17)

【公開番号】特開 2005-56684 (P2005-56684A)
 【公開日】平成 17 年 3 月 3 日 (2005.3.3)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-009
 【出願番号】特願 2003-286338 (P2003-286338)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 5 B 6/12

【F I】

H 0 5 B 6/12 3 1 4

H 0 5 B 6/12 3 0 3

H 0 5 B 6/12 3 1 2

H 0 5 B 6/12 3 2 4

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 9 月 9 日 (2005.9.9)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

本体の上面に被加熱物を載置する絶縁板を配置し、この絶縁板の下方の前記本体内に、被加熱物を加熱する加熱コイル A 及び加熱コイル B と、この加熱コイル B の下方に配置されたロースター加熱部と、前記加熱コイル B に対して被加熱物が磁性体か非磁性体かを判別し、その判別結果に基づいて夫々磁性体用と非磁性体用の 2 種類の高周波電力を供給するインバータ回路を搭載した出力制御基板とを配置し、この出力制御基板は被加熱物の判別結果により磁性体用又は非磁性体用の高周波電力を選択し、加熱コイル B を連続して非磁性体の被加熱物を使用できるように制御することを特徴とする誘導加熱調理器。

【請求項 2】

請求項 1 記載の誘導加熱調理器において、前記加熱コイル A 及び加熱コイル B の通電中に、その通電を使用者に知らせる表示部 A、表示部 B を前記本体に設けた誘導加熱調理器

。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 0
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 0】

本発明の解決手段は、本体の上面に被加熱物を載置する絶縁板を配置し、この絶縁板の下方の本体内に加熱コイル A 及び加熱コイル B と、加熱コイル B の下方に配置されたロースター加熱部と、加熱コイル B に対して被加熱物が磁性体か非磁性体かを判別し、その判別結果に基づいて夫々磁性体用と非磁性体用の 2 種類の高周波電力を供給するインバータ回路を搭載した出力制御基板とを配置し、前記出力制御基板は被加熱物の判別結果により磁性体用又は非磁性体用の高周波電力を選択し、加熱コイル B を連続して非磁性体の被加熱物を使用できるように制御するものである。